



## 就学援助支援は 入学前に支給するべきでは

教育長 平成31年度入学分から実施したい

齐藤 好信 議員

### SDGs取組み姿勢

**質問** SDGsとはグローバル（地球規模）で考えて、ローカル（地域）で行動する、つまり身近な取り組みがSDGsの達成のカギがあると考えると教育や福祉などを通じて生活や環境を良くすることに重点を置くことではないか。また、「誰

一人取り残さない」という理念は人間の尊厳を最も根底としたものであると思うが町長が目指すSDGsの取り組みへの理解は。

※持続可能な開発目標（SDGs）とは、世界が掲げる問題を解決し、持続可能な社会を作るために世界が合意した17の目標と169のターゲット。

**町長** 「2030年における下川町のありたい姿」の策定を進めており、町民の意見を募集している。「ありたい姿」を踏まえ、

**町長** 新入学児童生徒学用品費を入学前に支給する自治体が増加しており本町においても検討を進め、早い段階に実施したい。

**質問** 昨年一年間、全国で発生した75歳以上のドライバーによる死亡事故は418件。高齢者の運転免許自主返納を促し支えるため、公共交通の割引等を含め、生活の足を進めるべきではないか。

**教育長** 入学前支給の自治体は、道内において小学校の約5割が実施し

**質問** 就学援助に対する国の補助金交付要綱が改正され、入学前支給も補助金の対象となつた。入学準備の費用を支給対象世帯が用意せずに済むよう、入学前に支給をすべきではないか。町長、教育長の見解を問う。

### まちの安心・安全対策



**町長** 今後、運転免許証の自主返納が増加すると予想され、生活のための移動手段の充実が必要であると認識している。下川町においては、一定程度、他の自治体に負けない程度の公共交通の整備がされている。

町内における一時停止の標識や横断歩道の設置が必要な箇所については、住民や関係団体などからの意見、要望を含め、関係機関に設置の要望活動を行っている。

教育・福祉などの社会面を含めた総合的な政策を進めることで「幸せ日本一の町」を実現していく考え方である。

続々を進め、平成31年度入学分から実施していくと考えている。

ている。本町は支給時期については、所得が確定の標識の増設、横断歩道の設置等の対策が求められる。関係省庁に強く働きかけるべきではないか。